



# 延島っ子

発行者 延島小学校長 田村芳広

電話 49-0004 FAX 49-2761

## 『ねむの木祭』 『収穫祭』 お世話になりました



1日(土)の『ねむの木祭』『収穫祭』には多数御来校いただきありがとうございました。あいにくの天気でしたが、1、2年生のおみこし入場の開会行事から始まった1日はいかがだったでしょうか。校内を何度も巡回してみましたが、保護者の皆様の子どもたちを温かく見つめるまなざしを感じました。子どもたちも、保護者の皆様と一緒に活動できることを大変喜んでいる様子で、普段学校で見せる顔とは違った顔を見ることができました。



開会行事の全校合唱では60名の大きな声が体育館中に響きました。一生懸命な姿をみて、涙を浮かべている保護者の方が何人かいました。保護者の方々に見せる、聴かせるという子どもたちの思いが伝わったのでしょうか。歌にも、

絵にも一生懸命やったものは必ず見ている人を感動させるということを、『ねむの木祭』終了後も子どもたちに話していきたいと思っています。

### ◇学年発表

1年生；一人ひとり精一杯声を出して、自分たちのできることを発表していました。たくさんの台詞をよく暗記していました。最後の礼もしっかりできました。

2年生；学校で勉強したことを一人ひとり役割をもって発表できました。よく暗記して言葉遊びを発表できました。生活科の発表もよく観察したものでした。

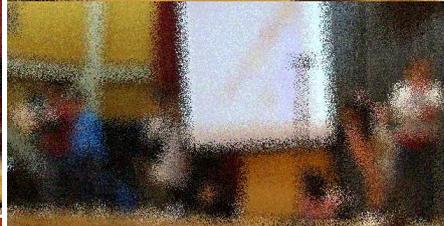
3年生；手作り感いっぱいでした。マイクがなくてもしっかり声が出ていました。延島の自然を大切にすることをよくまとめていました。

4年生；台詞を覚えるだけでなく手話もよく覚えていました。ビデオを使ったので手話がよく見えました。歌も手話でやり、よい学びをしていると思いました。

5年生；画像を使って上手に説明できました。糶をはずすことや精米の大変さがよくわかりました。足踏脱穀の実演も見ている人にわかりやすいものでした。

6年生；ことわざをわかりやすく説明していて、高学年らしい内容の発表だと思いました。詩の群読も全員の声が出ていて立派な発表でした。

どの学年もすばらしく、子どもたちの成長を強く感じることができました。





**◇作品鑑賞** 各学年とも発達段階にあった作品が展示されていました。上述したように、一生懸命作ったものは人に何かを伝えます。例えば、絵画の構図、下絵の線の引き方、色の塗り方、一人ひとり根気よく、緊張しながら描いたなど感じました。子どもたちの真剣な顔が作品を通して見えました。なお、前号でお知らせしましたが、3年生以上の習字は外部講師の方に御指導いただいた作品です。

学年発表や作品作りには先生方の頑張りも欠かせないものです。連日遅くまで、指導に準備に取り組んでいました。よいものを作りたいという思いが先生方を頑張らせたのだと思っています。そして、その思いに子どもたちがしっかり応えてくれました。これから2学期末に向けて、子どもたちに今回の成長を確認させ、さらに子どもたちをよりよく伸ばしていくために、継続して指導に力を入れていきたいと思っています。

**◇PTAイベント** 駄菓子屋さんは大盛況でした。子どもたちの喜びそうなものを準備してくださり、ありがとうございました。また、体育館の写真販売も、なかなか間近で撮ることができない運動会の写真を販売してくださいました。今後の集計が大変ですがよろしくお願いいたします。



**◇田んぼの学校のお弁当** 学校の田んぼでとれた米で作ったお弁当を購入された方、お米の味はどうだったでしょう。何名かの方からは、大変おいしいという言葉をいただきました。宮田さんや、実行委員の方々のおかげで、子どもたちは自分たちが関わったお米を食べるという体験ができました。ありがとうございました。



**◇ふれあい体験活動** 天候の関係で残念ながらゲートボールは実施できませんでしたが、各ブースでボランティアの方、地域の方にお世話になりました。

- ・ゲートボールの代わりに昔遊びでは親子で羽根つきをする姿やコマを回す姿があり、子どもたちとともに保護者の方にも楽しんでもらえたと思います。
- ・バルーンアートでは本校職員の菊池が担当しましたが、説明しながら、素早くできあがるウサギやネズミに、見ていた保護者の方々から感嘆の声が漏れました。私も思わず、「もっとゆっくりやってくれ。」と言ってしまいました。
- ・ビーズはとてもかわいいものを作っていました。細かい作業でしたが、子どもたちがあっという間に作り上げてしまうのに驚きました。
- ・茶の湯体験は、普段なかなか体験できないことで、保護者の方も真剣な表情で、作法を教えていただけていました。日本の伝統的な作法、所作を体験できる貴重な場でした。
- ・勾玉は削るのに大変時間がかかったようでした。昔の人はこのように飾りを作ったという苦勞を少しは感じたでしょうか。
- ・竹でっぼうではボランティアの方にたくさんの材料を準備していただき、子どもたちも簡単に作ることができていたようです。早速濡らしたティッシュを飛ばしていました。

ボランティアの方、保護者の方など多くの方とふれあうというこの活動の目的がすべてのブースで達成されていました。子どもたちは各ブースで作ったお土産もたくさん手に持っていました。御協力ありがとうございました。

以上、簡単ですが、先日の『ねむの木祭』『収穫祭』で校内をまわりながら感じた感想を載せさせていただきました。多くの方に支えられて本校の教育活動が成り立つこと、保護者や地域の方が心から子どもたちのことを大切に思ってくださいることを改めて確認することができました。今後も、学校と地域、家庭が一体となって、延島の子どもたちを伸ばしていきたいと思っています。

今後も御理解と御支援をよろしくお願いいたします。